

令和元年度第1回印西市総合計画審議会会議 会議録

- 1 開催日時 令和元年7月30日（火）午前10時00分～午前11時40分
- 2 開催場所 印西市文化ホール 2階 大会議室
- 3 出席者 吉村彰 会長、篠田道雄 委員、柴崎達夫 委員、五十嵐新一 委員
吉野康夫 委員、海老原稔 委員、青柳和江 委員、菊地謙治 委員
青木和浩 委員、熊谷公 委員、山本昭信 委員、田波英俊 委員
高橋定一 委員、大竹たまい 委員、安達卓俊 委員
- 4 欠席者 なし
- 5 事務局 企画政策課：小林課長、海老原係長、中島主査、鶴岡主任主事
- 6 傍聴者 5名
- 7 議 事 （1）平成30年度分行政評価結果について
（2）次期総合計画策定スケジュールについて
- 8 会議録 要点筆記（議事について要点を筆記しています。）

【議 事】

吉村会長： 議事（1）平成30年度分行政評価結果について、事務局より説明願います。

事務局： 資料に基づき説明

吉村会長： 事務局の説明が終わりました。議事（1）についてご意見ご質問を伺います。

海老原委員： 市は社会福祉協議会に地域支援事業を委託していますが、そちらの評価をしてほしいです。評価が難しいということであれば、文章でも構わないので入れていただきたいです。

事務局： 実施計画事業ではないところは今回評価しておりませんが、頂いたご意見を踏まえて検討させていただきます。

熊谷委員： 行政評価の指標の目標値ですが、実績値とかけ離れているものについては見直し等は考えていますか。

事務局： 実績値とかけ離れているものについては、担当課にヒアリングをし、毎回目標値の見直しや改善を図っています。

高橋委員： 64 番、89 番の印旛高校の跡地整備に係る事業ですが、運営実態はどのようなになっていますか。

事務局： まず 64 番の障がい者サポートセンターですが、現在は指定管理者による運営となっております。89 番につきましては、88 番の市民農園振興事業と一緒に進行管理をしていく予定でして、具体的には幼稚園・保育園児の収穫体験を行います。

高橋委員： 以前、障がい者が市民農園を活用するということを検討されていたかと思いますが、現在はどうなっていますか。

事務局： 以前はそのような計画がありましたが、現在は幼稚園・保育園児の利用となっております。

安達委員： トーマツは次期総合計画策定業務委託のコンサルということでよろしいですよ。契約額はどのくらいですか。

事務局： 2 年間の債務負担で、2 5 0 0 万円弱です。

安達委員： それを住民はどう評価するか私は興味があります。

事務局： 令和元年度の当初予算に計上したものでして、市議会での審議を経て決定されたものです。

会長： 議会はチェック機関ですからね。総合計画審議会場にはなじまないお話だと思います。

安達委員： 目標値に届かなかったから目標値を下げる、という理解でよろしいですか。

事務局： 安易に目標値を下げるということは認めておりません。ヒアリングの結果、明らかに無理な目標値のものについては再検討しております。

会長： 空家対策や住宅地の管理不全については、印西市ではどのようなになっていますか。

事務局： 事業番号 166 番がそれに該当いたします。空家等対策計画の着手を 30 年度から行っておりまして、今年度策定の予定です。市内では約 300 戸の空家がある状況でして、今後は計画に沿って対策を講じていくものと考えております。

山本委員： 147 番と 151 番が C 評価となっている理由と、新たな道路の整備については今後どのように進めていけますか。

事務局： 用地交渉や予算の面で評価が C となっているところがございますが、新しく道路を造る際は渋滞の緩和などを目的として検討するものと考えております。

五十嵐委員： 今行っている交通の調査は、どこでいつ発表されますか。

事務局： 交通の調査にも、国や県が行っているものもございまして、現在行っているものはおそらく国の調査になります。結果については約 1 年後、ホームページ等で公表されるかと思えます。

柴崎委員： 評価も大切ですが、今後まちの生業が変化していく中で、市民ニーズも変化していくものと思えます。それにふさわしい計画が大切だと思います。

事務局： さまざまな市民ニーズを踏まえたうえで、計画を策定してまいりたいと考えております。

- 安達委員： 次期総合計画に伴う事業の予算は、縮小するのですか、拡大するのですか。
- 事務局： 高齢化に伴う扶助費の増加や人口の増加に伴い、予算全体としては拡大していくものと考えております。
- 青柳委員： 地域活性化の推進で、木下駅周辺が「ほぼ目標どおり」となっていますが、どのあたりが目標通りなのですか。デキシーの跡地の活用についても教えてください。
- 事務局： 木下地区活性化のための準備会が目標通り開催できたという評価でして、実際に活性化できているという評価ではございません。また、デキシー跡地につきましては具体的な計画等はございません。
- 山本委員： 市として、例えば UR さんの賃貸マンションの空家を買って上げて、福祉的なものに使ったりはしないのですか。できればぜひそういった先を見据えたことをしていただきたいです。
- 事務局： 現在のところそういった計画はございませんが、頂きましたご意見は担当課に申し伝えさせていただきます。
- 安達委員： 各担当課が計画の通り事業を実施できなかった場合の目標値設定や、目標値が無いものについては、そもそも目標値を設定しないと行政評価はできないと思います。
- 事務局： 先ほど申し上げました通り、当初設定した目標値を安易に変更することはありませんが、例えば当初の計画が変わったりしたものにつきましては変更も行っております。また、市として必要な事業であり、実施計画事業として進めるべきものですが、そもそも指標の設定が困難な事業につきましては、やむをえずそのまま実施しているものもございます。

吉村会長： 他にありませんか。無いようでしたら、議事（１）はこれで終了とさせていただきます。

吉村会長： それでは議事（２）次期総合計画策定スケジュールについて、事務局より説明願います。

事務局： 資料に基づき説明

吉村会長： 事務局の説明が終わりました。議事（２）についてご意見ご質問を伺います。

会 長： 市長が変わることもあるかと思いますが、総合計画の中にどのように市長のビジョンが反映されるのでしょうか。

事務局： 市長とのヒアリングを行いまして、次期総合計画のビジョンなど基本構想の大枠を確認いたします。それを踏まえて細かい作業に入っていきますが、もし市長が変わった場合も同様にヒアリングを行いまして、大きく方向性が変わるようであれば見直しも検討することになります。

安達委員： 市長が変わった後も、基本的には継続になるのではないかと思います。

事務局： おっしゃったとおり、継続性が大切だと認識しております。

吉村会長： 他にありませんか。無いようでしたら、議事（２）はこれで終了とさせていただきます。

本日の議事はこれで終了とさせていただきます。事務局に進行をお返しいたします。

事務局： それでは以上をもちまして、令和元年度第１回印西市総合計画審議会を終了いたします。長時間にわたりありがとうございました。

会議資料

会議次第

- 1 令和元年度第1回印西市総合計画審議会会議次第
- 2 資料1－1 平成30年度分行政評価の結果概要について
- 3 資料1－2 平成30年度分行政評価結果報告書
- 4 資料1－3 平成30年度分実施計画事業評価票
- 5 資料2－1 印西市総合計画策定スケジュール
- 6 資料2－2 印西市総合計画審議会想定内容

令和元年度第1回印西市総合計画審議会の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和元年9月2日

委 員 菊 地 謙 治

委 員 青 柳 和 江